MUCHO-TL/TL-DSU

電話機能 の拡張 のお知らせ

このたびはISDN/専用線対応アクセスルータ“ ムーチョ ”MUCHO-TL/TL-DSUをお買いあげいただき、誠にありがとうございます。

今回お買い求めいただいた MUCHO-TL/TL-DSU では、日本電信電話株式会社（以降NTT）で実施している「INSネット発信者番号通知サービス」への対応や、お客様が電話をより便利にお使いいただけるように機能が拡張されています。

本資料では、これら新しい機能に関して説明しています（取扱説明書では説明されておりません）。

MUCHO-TL/TL-DSU をご使用の前に本資料を良くお読みのうえ、正しくお使いください。

お知らせ
MUCHO-TL/TL-DSUではダイヤルパルス（DP）はサポートしていません。ご利用できる電話はプッシュトーンをサポートしている機種に限ります。

＞＞＞目次＜＜＜

1 NTT ナンバーディスプレイサービスへの対応

MUCHO-TL/TL-DSU では INS ナンバーディスプレイサービスに対応すると同時に「発信者番号通知」を利用した機能が強化されています。

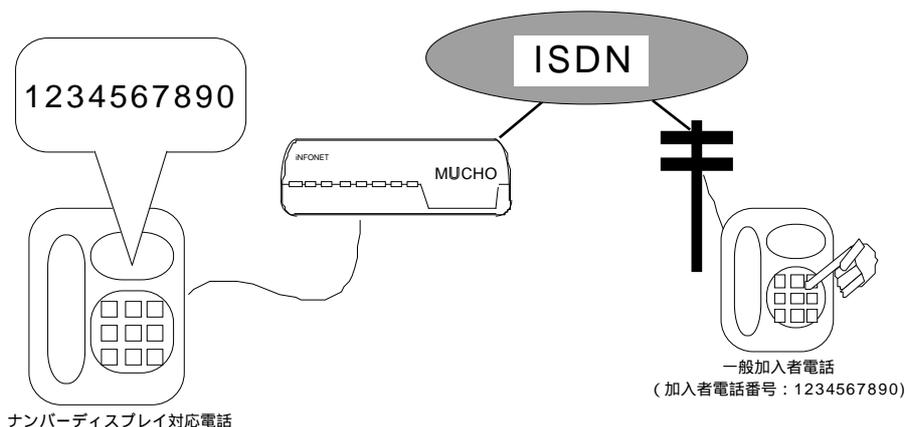
1.1 ナンバーディスプレイ装置をご利用できます

着信時、ナンバーディスプレイに対応した電話機などのディスプレイに、電話をかけてきた人の電話番号などを表示することができます。表示できる内容は、お客様の「INSナンバーディスプレイ」契約状況により異なります。

「 INSナンバーディスプレイ」の契約に関しましてはNTTにお問い合わせください。

INSナンバーディスプレイ契約状態とディスプレイへの表示内容

電話をかけてくる所	発信時の条件	INS ナンバーディスプレイ契約時の表示内容	INS ナンバーディスプレイ非契約時の表示内容
一般電話から	番号通知で発信	発信者番号	“O”
	番号非通知で発信	“P”	“O”
INSネットから	番号通知で発信	発信者番号	発信者番号
	番号非通知で発信	“P”	“O”
その他発信番号の通知ができる電話から	番号通知で発信	発信者番号	発信者番号
	番号非通知で発信	“P”	“O”
公衆電話から	ー	“C”	“O”
その他発信番号の通知ができない電話から	ー	“O”	“O”
内線	ー	なし	なし
内線転送	ー	なし	なし

P：Privacy（匿名を表します）、C：Coin, Card（公衆電話を表します）、O：Out of area（表示圏外を表します）
内線発信元番号：1（該当ポートはTEL1）または２（該当ポートはTEL2）

お知らせ

- 呼出し遅延設定（詳細は取扱説明書を参照してください）されているTELポートでのナンバーディスプレイは、他ポートが遅延分呼び出されてから行います。
- 割り込み着信をナンバーディスプレイする事はできません。
- TEL1とTEL2の両ポートへ同時に着信した場合は、TEL1側でのナンバーディスプレイが終わってから、TEL2側でのナンバーディスプレイが行われます。
- 非表示理由（”P”,”C”,”O”）の具合的な表示内容はご使用の電話やディスプレイ端末で異なります。
- データ通信による MP により回線を２回線使用している時の着信に対してはナンバーディスプレイをいたしません。通常の着信となります。

1.1.1ナンバーディスプレイ装置使用の有無

ナンバーディスプレイ装置をご利用になる時は、該当の TEL ポートに「ナンバーディスプレイ装置を使用する」の設定が必要となります。
この設定の工場出荷時設定は「ナンバーディスプレイ装置を使用しない」 となっていますので、ナンバ ーディスプレイ装置をご 利用にならない場合、こ の設定項目の設定は必要ありません。

ナンバーディスプレイ装置を呼び出すための呼出音の ON/OFF 時間は 0.5 秒/0.5秒が規定値となっていますが、MUCHO-TL/TL-DSUではこの時間をTELポート毎に変更できます。

電話からの設定手順	内容
1*60	ナンバーディスプレイ装置を使用しない（工場出荷時設定）
1*61	ナンバーディスプレイ装置を使用する（起動信号は規定値）
1*62	ナンバーディスプレイ装置を使用する（起動信号は0.65秒/0.35秒）

設定ユーティリティ（アナログ設定：TELポートの設定）での設定（例：TEL1ポートの場合）

チェック項目は上から順に1*60～2に対応します。

1.1.2ナンバーディスプレイがうまくできない時

ナンバーディスプレイは、電話がかかってきたタイミングによってはうま く動作しない時がありますが 、動作できない状況が続 く場合は次の設定変更で な おる場合があります。

ナンバーディスプレイできない状況	変更する内容
通常の呼出 音よりも短 い間隔でベ ルがなり、ナ ンバーディ スプレイで きない	“9*70～3”の設定でベル周波数を変更してください。 また、”1*62”（ナンバーディスプレイ装置を使用する（起動信号は 0.65 秒/0.35 秒））の設定でも確認してみてください。
短い呼出音 は鳴らない が、ナンバ ーディスプレイできない。	“9*00～1”の設定で通話ボリュームを変更してください。

- 1300Hz無鳴動着信ご利用時もこの設定は有効になります。1300Hz無鳴動着信をご利用する場合はご注意ください。

STOP お願い

- この設定項目は、ナンバーディスプレイ装置を設置した場合は「使用する」、設置しない場合は「使用しない」と設定してください。設置状態と設定の内容が正しくない時は、電話または、ナンバーディスプレイ装置が誤動作します。
- 「ナンバーディスプレイ装置を使用する」状態で停電等でナンバーディスプレイ端末がご利用できない時は、電話のベルが鳴ってから約６秒後に受話器を取るようにしてください（通常より短い間隔で鳴っている間は受話器を取らないでください）。この間に受話器を取っても繋がりませ ん。このような状態が長く 続くような場合は「ナンバーディスプレイ装置を使用しない」設定にしてご利用ください。
- 「ナンバーディスプレイ装置を使用する」状態で着信転送時の呼出ベル（”2*30～9”）や追加呼出遅延（”9*10～9”）を利用すると、電話機により着信転送時や追加呼出時の遅 延呼出回数は設定した回数より 1～2 回少ない場合があります。このような時は、呼出回数を多めに設定してください。

1.2 発信者番号による電話への着信制限（識別着信）

いたずら電話や無用な電話を受けないように、かかってきた電話の発信者番号等の内容から、TELポート毎に着信を制限することができます。

着信を制限する条件と設定方法は次の通りです。

電話からの設定手順	内容
9*50	着信識別、着信制限は行わない。（工場出荷時設定）
9*51	MUCHO-TL/TL-DSUに[1]短縮登録されている電話番号と同じ発信者番号の着信（識別着信）は許可する。
9*52	識別着信と[2]INSなりわけ登録番号からの着信も許可する。
9*53	発信者番号が通知されている、あるいはINSなりわけ登録者からの着信を許可する。
9*54	識別着信とINSなりわけ登録者からの着信に加え、[3]公衆電話からの着信も許可する。
9*55	発信者番号が通知されている、あるいはINSなりわけ登録者からの着信に加え、公衆電話からの着信も許可する。
9*56	INSなりわけ登録者以外からの[4]匿名の着信は着信しない。

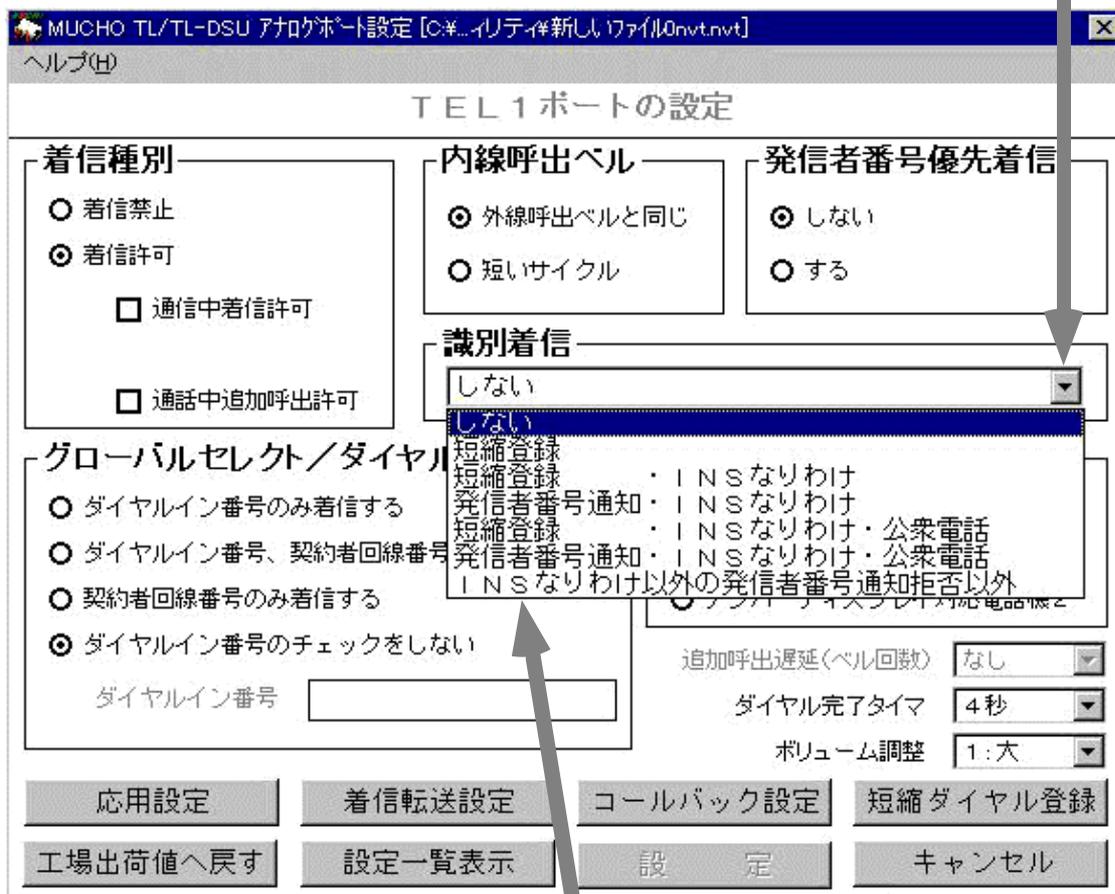
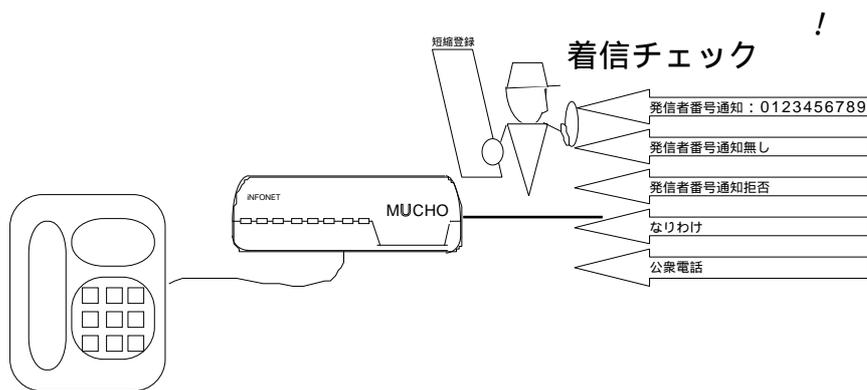
[1] 短縮登録：MUCHO-TL/TL-DSUでは短縮番号登録をTELポート毎に40件登録できます。

[2] INSなりわけ登録者：NTTのINSなりわけサービスの契約が必要です。契約後、NTTに登録した番号を識別することができます。INSなりわけサービスについてはNTTにお問い合わせください。なお、擬似なりわけは識別着信に対応していません。

[3] 公衆電話からの着信：INSナンバーディスプレイの契約をすることで識別することができます。

[4] 匿名の着信：INSナンバーディスプレイの契約をすることで識別することができます。

設定ユーティリティ（アナログ設定：TELポートの設定）での設定（例：TEL1ポートの場合）

ここをクリックするとメニューがでます。

メニューの内容は上から順に9*50～6の設定に対応します。

- 擬似なりわけ（P14）による着信は識別着信と同等の扱いになります。
- この設定項目は、取扱説明書では識別着信の設定として“9*51”までについて説明されています。ここでは、この設定項目を拡張して利用できることを説明しています。

1.3 電話をかける時の発信者番号の通知

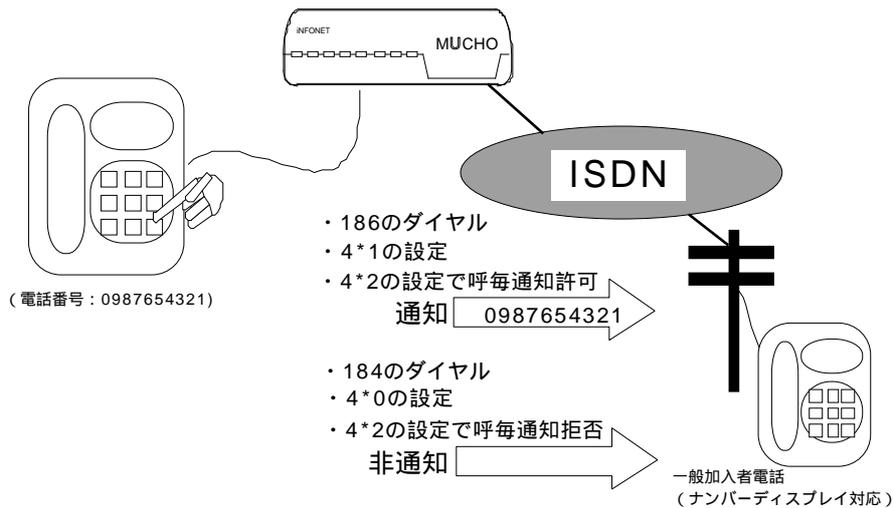
MUCHO-TL/TL-DSUから184または186をダイヤルしないで電話をかけた時に、発信者番号を相手に通知するか、しないかをTELポート毎に決められます。

また、発信者番号通知はこの設定項目の内容と共に、INS ネット発信者番号通知 サービスの契約内容に影響されますので、お客様の契約内容も御確認ください。

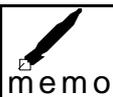
電話からの設定手順	内容	NTTとの契約内容	通常の発信時	184をつけた発信時	186をつけた発信時
4*0	発信者番号を通知しない	呼毎通知許可	通知しない	通知しない	通知する
		呼毎通知拒否	通知しない	通知しない	通知する
		常時拒否	通知しない	※通知しない	※通知しない
4*1	発信者番号を通知する	呼毎通知許可	通知する	通知しない	通知する
		呼毎通知拒否	通知する	通知しない	通知する
		常時拒否	通知しない	※通知しない	※通知しない
4*2	発信者番号の通知は契約による(工場出荷時設定)	呼毎通知許可	通知する	通知しない	通知する
		呼毎通知拒否	通知しない	通知しない	通知する
		常時拒否	通知しない	※通知しない	※通知しない

※通知しない：通話相手によっては電話が繋がりません。（次ページのmemoを御参照ください）

設定ユーティリティ（アナログ設定：TELポートの応用設定）での設定（例：TEL1ポートの場合）

チェック項目は上から順に 4*0～2 に対応します。

STOP お願い

INS ネット発信者番号通知サービスを「常時拒否」で契約されますと、データ通信の接続時も発信者番号の通知は行われません。データ通信時のネットワークセキュリティ を確保する為にも、INS ネット発信者番号通知サービスは「呼毎通知許可」または「呼毎通知拒否」で契約してください。
データ通信の接続は「発信者番号を通知する」で固定となっています。

memo

お客様の INS ネット発信者番号通知サービスの契約内容が「常時拒否」の場合、「ナンバーリクエスト」「INSナンバーリクエスト」を契約されている相手には電話がかかりません。

お知らせ

この設定項目は、取扱説明書では発信者番号の設定として“4*1”までについて説明されています。ここでは、この設定項目を拡張して利用できることを説明しています。
また、工場出荷時設定値の値も“4*2”に変更しています。

ナンバーディスプレイと着信転送

MUCHO-TL/TL-DSUにおいて着信が転送される時、転送先でナンバーディスプレイされる内容はその時の着信転送の方法で次の内のどれかとなります。

- **発信元の電話番号**
- **着信転送を実施したMUCHO-TL/TL-DSUの電話番号**
- **表示内容なし（表示拒否理由は発信元の拒否理由またはMUCHO-TL/TL-DSUの拒否理由となります）**

発信者の状況	MUCHO-TL /TL-DSU での			転送先でナンバーディスプレイされる内容
	着信転送方法	発信者番号通知の設定	契約状況（常時拒否は除く）	
発信者番号を通知する	フレックスホン	ー	ー	発信者の電話番号 (転送先が携帯電話やPHS等の移動体電話の場合は通知されません(1998.5現在))
	フリー転送	4*0	ー	表示拒否理由（MUCHO-TL/TL-DSUの）
		4*1	ー	MUCHO-TL/TL-DSUの電話番号
		4*2	呼毎通知許可	MUCHO-TL/TL-DSUの電話番号
			呼毎通知拒否	表示拒否理由（MUCHO-TL/TL-DSUの）
発信者番号は通知しない	フレックスホン	ー	ー	表示拒否理由（発信者の） (転送先が携帯電話やPHS等の移動体電話の場合は通知されません(1998.5現在))
	フリー転送	4*0	ー	表示拒否理由（MUCHO-TL/TL-DSUの）
		4*1	ー	MUCHO-TL/TL-DSUの電話番号
		4*2	呼毎通知許可	MUCHO-TL/TL-DSUの電話番号
			呼毎通知拒否	表示拒否理由（MUCHO-TL/TL-DSUの）

表示拒否理由には「匿名」、「表示圏外」等があります。

2 ファックスを有効に活用していただくために

MUCHO-TL/TL-DSU では、G3 ファックスの「無鳴動（１３００ HZ）着信」を有効にご利用できます。

memo
無鳴動着信とは、FAX電話が呼出し音を鳴らすことなくFAXを受信できる機能です。
この機能をご利用になるには、受信するFAXが「無鳴動（1300HZ）着信」に対応している必要があります。

2.1 プリフィックス発信

MUCHO-TL/TL-DSU では、通常の電話番号の前に特定の番号を付けてダイヤルする だけで、その回の電話に限ってHLC（高位レイヤ整合性）を特定することができます。また、通話中の着信（コールウエイティング）を無視することもできます。

番号	内容
180	通信中着信をこの回だけ禁止にする。ただし、保留後や内線転送後は無効となる。
181	HLCを「任意（HLCの通知は行わない）」として発信する。
182	HLCを「電話」として発信する。
183	HLCを「FAX」として発信する。また、通信中の着信はこの回だけ禁止にする。
185	フッキング代用特番をこの回だけ中止する。

・発信者番号の通知は「発信者番号通知設定（P7）」の内容に依存します。
・184または186と同時に使用する事はできません。
・通常のダイヤル時のHLCは「機器種別設定（取扱説明書参照）」の内容に依存します。

2.2 FAX 無鳴動着信

HLCの通知ができない一般電話からのFAX着信を「無鳴動（1300HZ）着信」することができます。

MUCHO-TL/TL-DSU が着信した時、その着信番号が契約番号かダイヤルインかで 無鳴動するかしないかをTELポート毎に区別できます。

電話からの設定手順	内容
9*60	FAX無鳴動着信禁止（工場出荷時設定）
9*61	着信時のHLCがFAXの時のみ無鳴動着信を許可する。
9*62	無条件に無鳴動着信を許可する。
9*63	契約者回線番号着信（グローバル着信）時のみに無鳴動着信を許可する。
9*64	ダイヤルイン着信時のみに無鳴動着信を許可する。

設定ユーティリティ（アナログ設定：TELポートの応用設定）での設定（例：TEL1ポートの場合）

チェック項目は上から順に9*60～4に対応します。

お知らせ

- **ダイヤルインのご利用はダイヤルインサービスの契約が必要です。詳細はNTTにお問い合わせください。**
- **“9*63”または”9*64”の設定を行うと通常の電話 は着信時に呼出音が鳴らなくなります のでご注意ください。**
- **この設定項目は、取扱説明書ではFAX無鳴動着信の設定として “ 9*62 ” までについて説明されています。ここでは、この設定項目を拡張して利用できることを説明しています。**

3 フリー転送を有効に活用していただくために

フリー転送機能は、フレックスホンの着信転送機能では実現できない、便利な機能を提供します。

フレックスホンの着信転送機能を御契約している場合、フリー転送の便利な機能はご利用になれません。フリー転送の便利な機能をご利用になりたい場合はフレックスホンの着信転送は御解約ください。

フレックスホン着信転送とフリー転送の関係

転送処理の種類	転送時必要な空き回線数	利用できる転送サービス		
		単純転送	[5]追っかけ転送	代替着信
フレックスホン着信転送	1	○	×	×
フリー転送	2	○	○	○

3.1 フリー転送代替着信

フリー転送をご利用時、転送先の事情で着信転送が失敗した場合は、MUCHO-TL/TL-DSUが着信した時のTELポートに繋がれている電話を呼び出すようにTELポート毎に設定できます。

なお、着信転送の失敗は通常の呼出し失敗に加え、相手が30秒以内に応答しない場合も含みます。

電話からの設定手順	内容
2*70	フリー転送禁止
2*71	フリー転送許可（工場出荷時設定） （転送失敗時はビジー音が鳴り、発信者には課金は発生しません）
2*72	フリー転送許可 （転送失敗時は転送先のビジー音またはメッセージが聞こえ、発信者に課金が発生します）
2*73	フリー転送代替着信を行う。 （フレックスホン着信転送を契約されている場合はご利用になれません）

5 追っかけ転送については取扱説明書を御参照ください

設定ユーティリティ（アナログ設定：TELポートの着信転送設定）での設定（例：TEL1ポートの場合）

チェック項目は上から順に2*70～3に対応します。

MUCHO TL/TL-DSU アナログポート設定 [C:¥...イリティ¥新しいファイル0nvt.nvt]

ヘルプ(H)

TEL１ポートの着信転送設定

着信転送

- ☒ 着信転送しない
- ☐ 着信転送する
  - 着信転送先番号
  - 追っかけ転送先番号

転送トーキ

- ◉ 転送トーキなし・転送元トーキなし
- ○ 転送トーキあり・転送元トーキなし
- ○ 転送トーキなし・転送元トーキあり
- ○ 転送トーキあり・転送元トーキあり

フリー転送

- ○ フリー転送禁止
- ◉ フリー転送許可１【転送失敗時、発信者に切断音を通知する】
- ○ フリー転送許可２【転送失敗時、発信者にアナウンスを通知する（通話料がかかります）】
- ○ フリー転送許可３【転送失敗時、又は転送相手が30秒以内に応答しない時このポートを呼び出す】

暗証番号

- ☐ 着信転送設定用暗証番号
- ☐ 着信転送解除用暗証番号

呼出ベル回数 0回

設　定　　キャンセル

お知らせ この設定項目は、取扱説明書 ではフリー転送の設定として “2*72” までについて説明されています。ここでは、この設定項目を拡張して利用できることを説明しています。

4 なりわけ着信を有効に活用していただくために

NTT の INS なりわけサービスを契約されているお客様にはより使いやすく、契約されていな いお客様には擬 似的になりわけ サービスを利用 することがで きます。

4.1 INS なりわけ着信の機能拡張

なりわけ着信中においても、他の TEL ポートで通常の着信や新たななりわけ着信が可能です。

お知らせ

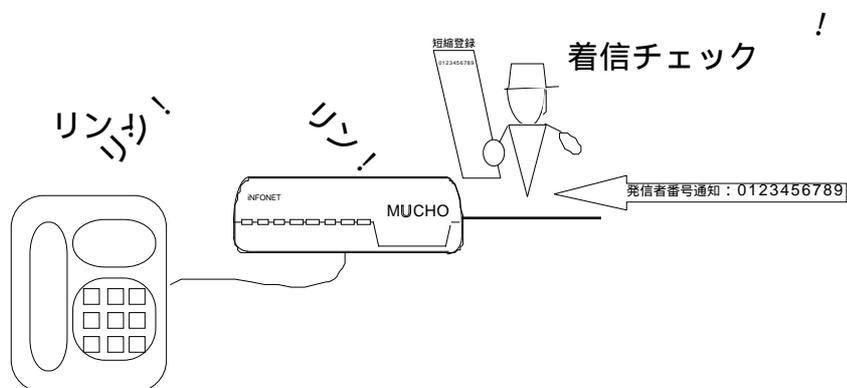
- **取扱説明書では、なりわけ着信中の着信は受け付けないとなっています。**
- **ナンバーディスプレイを行わない設定の MUCHO にナンバーディスプレイ装置を接続してなりわけを行うと、 ナンバーディスプレ イ装置によっては電話 がうまく繋がらない 場合があります。この場合は、MUCHOのナンバーディスプレイを有効にするか、ナンバーディスプレイ装置の機能を無効にしてください。**

4.2 擬似なりわけ

NTT のなりわけサービスを契約されていない場合でも、短縮登録している相手から着信を受けた場合、電話を[6]なりわけ呼出ベルと同じように鳴らす事を TEL ポート毎に設定できます。

電話からの設定手順	内容
1*50	擬似なりわけは使用しない（工場出荷時設定）
1*51	擬似なりわけを使用する

[6] なりわけ呼出ベル：通常の呼出ベルより短いサイクルでなります。また、通常の通話中着信音は２回ずつなりますが、なりわけ着信時は４回ずつなります。

設定ユーティリティ（アナログ設定：TELポートの応用設定）での設定（例：TEL1ポートの場合）
チェック項目は上から順に1*50〜1に対応します。

- 電話機の呼出音の種類によっては、通常の 呼出しとなりわけ時の呼出しの区別がつき にくい場合があります。電話機の呼出音をご確認の上、ご利用願います。
- コールバック時の呼出音は、通常の呼出音となります。
- ナンバーディスプレイを行わない設定の MUCHO にナンバーディスプレイ装置を接続してなりわけを行うと、ナンバーディスプレ イ装置によっては電話がうまく繋がらない 場合があります。この場合は、MUCHO のナンバ ーディスプレイを有効にするか、ナン バーディスプレイ装置の機能を無効にしてください。

5 フッキングができない子機等を有効に活用していただくために

お手持ちのフッ キングができな い電話機（特 に親子電話の子 機）でも、通 信中着信の応答や外線通話の内線転送等フッキングを利用した操作ができます。

ただし、電話機は“ # ”が押せるものでなければいけません。

5.1 フッキング代用特番

“ # ”のキーをフッキング（キャッチ）として代用します。フッキング操作表に おける“ フッキング ”の操作時には“ # ”を押してください。

通常ダイヤルの発信時、ボイスワープ登録中（ステミュラス手順中）等の“ # ” はフッキングにはなりません。 また、“ # ”を押すことに よってダイヤリングのキャ ンセルや特殊ダイヤルとして“ # ”を利用する事はできません。

電話からの設定手順	内容
9**0	フッキング代用は使用しない（工場出荷時設定）
9**1	フッキング代用を使用する

設定ユーティリティ（アナログ設定：TELポートの応用設定）での設定（例：TEL1ポートの場合）

チェック項目は上から順に 90～1 に対応します。**

フッキング操作の変換一覧表

項目	通常の操作	フッキング代用での操作
保留／保留解除	［通話を保留にする］ お話中に➡１回フッキング➡“１”➡受話器は 戻さない ［保留を解除する］ 受話器を戻す➡呼出しベルが鳴る➡受話器を取 る➡保留していた相手とお話する	［通話を保留にする］ お話中に➡“＃”➡“１”➡受話器は戻さない ［保留を解除する］ 受話器を戻す➡呼出しベルが鳴る➡受話器を取 る➡保留していた相手とお話する
通話中着信受信	お話中に➡通話中着信音➡１回フッキング➡“１”➡通話中に着信してきた相手とお話する（以前の相手は保留される）	お話中に➡通話中着信音➡“＃”➡“１”➡通 話中に着信してきた相手とお話する（以前の相手 は保留される）
話中者 と保留 者の切り替え	保留の相手がいる話中➡１回フッキング➡“１”➡保留されていた相手とお話する（以前の相手 は保留される）	保留の相手がいる話中➡“＃”➡“１”➡保留 されていた相手とお話する（以前の相手は保留さ れる）
内線転送	［内線通話する時］ お話中に➡１回フッキング➡“２”➡転送する 旨を通知する➡オフフック ［内線通話しない時］ お話中に➡１回フッキング➡“２”➡オフフック	［内線通話する時］ お話中に➡“＃”➡“２”➡転送する旨を通知 する➡オフフック ［内線通話しない時］ お話中に➡“＃”➡“２”➡オフフック
コール ウエイティング	お話中に通話中着信音➡１回フッキング➡かけ てきた相手とお話する➡１回フッキング➡“１”➡前の方とお話する	お話中に通話中着信音➡“＃”➡“１”➡かけ てきた相手とお話する➡“＃”➡“１”➡前の方 とお話する
通話中転送	お話中に➡１回フッキング➡“１”➡電話番号 ➡転送する旨を通知する➡１回フッキング➡“０”➡オフフック	お話中に➡“＃”➡“１”➡電話番号➡転送す る旨を通知する➡“＃”➡“０”➡オフフック
３者通話	お話中に➡１回フッキング➡“１”➡電話番号 ➡転送する旨を通知する➡１回フッキング➡“３”➡３人でお話しする	お話中に➡“＃”➡“１”➡電話番号➡転送す る旨を通知する➡“＃”➡“３”➡３人でお話し する
通話中機器移動	［通話の中断］ お話中に➡１回フッキング➡“＃”➡認識番号（０～９）➡オフフック ［機器移動後の通話再開］ 受話器をあげる➡“＃”➡認識番号（０～９）➡“＃”➡お話する	［通話の中断］ お話中に➡“＃”➡“＃”➡認識番号（０～９）➡オフフック ［機器移動後の通話再開］ 受話器をあげる➡“＃”➡認識番号（０～９）➡“＃”➡お話する
ダイヤリング キャンセル	ダイヤル中➡１回フッキング➡ダイヤルをやり 直す	ダイヤル中➡受話器を置く➡受話器を取る➡ダ イヤルをやり直す
ビジートーン キャンセル	１回フッキング	“＃”➡“１”

6 電話からの設定をより便利にしました

MUCHO-TL/TL-DSU では、電話の設定項目は数 字と “ ＊ ” を利用して電話 からも設定できます。
電話からの設定は、設定を行っている電話が繋がれている TEL ポートに行われますが、他の TEL ポートや同時に全ての TEL ポートに対して設定する事もできます。

6.1 他ポート設定

設定の為に受話器を取っていない、もう片方のTELポートの設定を行います。
次の操作の後、続けて各設定項目に対応した電話操作を行ってください。

他ポート設定時の手順	* ➡ # ➡ # ➡ 各設定項目に応じた手順

例：短縮番号の登録

* ➡ # ➡ # ➡ 0 ➡ * ➡ 短縮番号(00～39)➡電話番号（市外局番から）➡ # 今迄通りの設定手順

6.2 全ポート設定

設定の為に受話器を取っていない、もう片方のTELポートの設定も同時に行います。
次の操作の後、続けて各設定項目に対応した電話操作を行ってください。

全ポート設定時の手順	* ➡ # ➡ * ➡ 各設定項目に応じた手順

例：短縮番号の登録

* ➡ # ➡ * ➡ 0 ➡ * ➡ 短縮番号(00～39)➡電話番号（市外局番から）➡ # 今迄通りの設定手順

6.2.1着信転送の全ポート指定

前述の「全ポート設定」を利用して同時に両ポートの設定ができますが、 着信転送を「行う／行わない 」に関しては、より短い 操作手順で済むように特 別な全ポート設定のコマンドを用意しています。

電話からの設定手順	内容
#20	全てのTELポートを着信転送OFFとする。
#21	全てのTELポートを着信転送ONとする。

外出先から着信転送の設定解除を行う為の暗証番号を、両ポートで同じ番号に設 定すれば、外出先からでも着信転送の設定解除を全ポート同時に行なえます。